

標記について下記のとおり報告します。

報告者 部会長 竹内 仁

日 時	2012年9月5日(水)
場 所	城陽市役所 庁舎内2階 第6会議室
出席者	宇治支援学校(進路部長1名)、就労促進・授産支援ネットワーク(代表1名)、あんびしゃ(1名)、城陽作業所(1名) ワークショップ野の花(1名)、ものづくりスペースみんななかま(3名) オブザーバー 福祉課(1名) 参加者数 9名
検討課題	1、福祉情勢・就労に関わる情報の共有。2、障がいのある人の就労保障と工賃アップに向けて (①障がいのある人の就労保障と工賃アップに向けた取り組み報告、②福祉事業所フェア実施にむけた検討及び確認)

【議事録】

1、福祉情勢・就労に関わる情報の共有。

- ・ 優先調達法が2013年4月より施行。行政との連携強化と受注する福祉事業所側の生産力の課題について議論。生産力の課題については事業所同士が連携することによって請けることが可能になるのではないかなど、意見がでた。
- ・ 障害者差別禁止法、第3回障害者政策委員会 差別禁止部会が8月31日開催、秋頃骨格提言がでる予定。
- ・ 山城北圏域就労部会の報告。
 - * 丹後障害者自立支援協議会が取り組んでいる「ハートウォームカンパニー」、ステッカーの掲示を山城北圏域内の企業へ働きかけ。部会内で推進委員会を設置。
 - * 企業と宇治支援学校との懇談実施向け、部会内で推進委員会を設置。

2、障がいのある人の就労保障と工賃アップに向けて。(4月～8月までの実績報告)

- ・ 就労促進・授産支援ネットワークの実践(城陽市内7つの就労系福祉事業所が集まっているネットワーク)
 - * てづくりのお店あんだんての取り組み。今年度から城陽市役所庁舎内の販売回数が月1回から月2回になったことから月の売上げがあがっている。6月の販売では5万円以上売上げがあった。(1回の市役所販売売上額は約4万前後です)また9月6日にはアルプラザ城陽での店内販売会も予定している。
 - * 喫茶事業の取り組み、城陽商工会議所、アクティ商店街のご支援のもと7月3日よりオープンした。障がいのある人のコミュニケーション力向上等、目的とした実習を秋頃開始の予定で計画。
 - * 意見として、喫茶店への実習には多様な関わり方があっていいのではないかなど。接客、厨房手伝い等の直接的な関わりと、チラシ配布等の間接的な関わりもあっていいのではないかなど。チラシ配布は宣伝効果を狙うだけでなく、障がいのある人と地域の人とのふれ合いにも繋がる。
- ・ 福祉事業所 就職フェアの実施。
 - * 大きな柱として進路の選択肢の幅を広げることと、障がいのある人の就労保障に繋げていく。
 - * 福祉事業所フェア企画案にもとづいて検討。

意見として、①目的が就労保障に絞ると学校で取り組んでいる中身とかわらない。就労保障プラス地元企業・団体との連携を強化していくことが、地域で取り組む意味として重要ではないか。②福祉事業所で取り組んでいる状況を具体的に知ってもらうために、各事業所が作っている製品の展示及び販売会を実施したらどうか。③呼びかける対象範囲をどこまで広げるか。④既に実施している宇治支援学校の全体説明会との連携をとっていくのも一つの方法ではないか。⑤フェア推進体制として部会内に事務局を設置。
 - * でてきた意見を踏まえて事務局で企画案をまとめ、フェア要綱を作成し具体的な動きを提案していきたい。